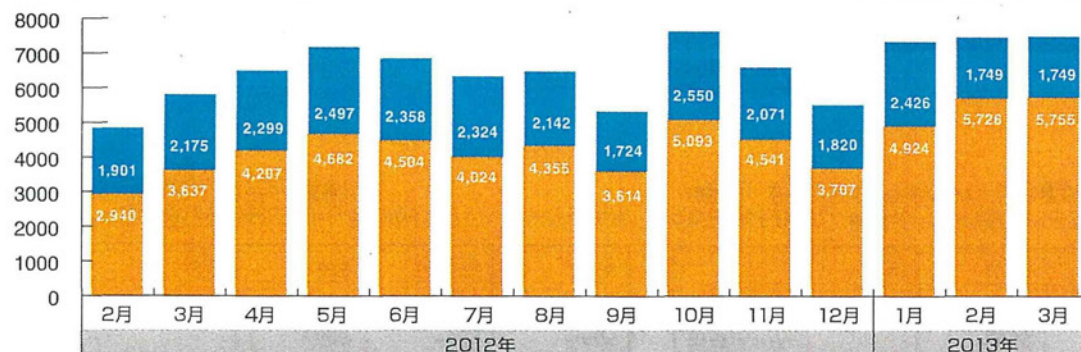


セッション

	2012年											2013年		
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
■新規ユーザー	1,901	2,175	2,299	2,497	2,358	2,324	2,142	1,724	2,550	2,071	1,820	2,426	1,749	1,749
■リピーター	2,940	3,637	4,207	4,682	4,504	4,027	4,355	3,614	5,093	4,541	3,707	4,924	5,726	5,755
合計	4,841	5,812	6,506	7,179	6,862	6,351	6,497	5,338	7,643	6,612	5,527	7,350	7,475	7,504



【傾向】

2012年2月から5月にかけてピークを迎えるも、9月に一旦下落し、翌10月は反転し最高値となる。2013年になってからの3ヶ月は大きな変動がないものの、新規ユーザーのセッション数の減少とリピーターのセッション数の増加が顕著に見られた。

【考察】

2013年1月は新しいサイトへの移行期であったため、比較的高いセッション数となったが、それまでアクティブでなかったリピーターが訪れたと推測できる。2013年2月からの新規ユーザーの落ち込みについては、リニューアルによりページ数が減り、新規ユーザーが流入していたキーワードの検索順位が一時的に下がった可能性が考えられる。

ページビュー

	2012年											2013年		
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
■新規ユーザー	36,577	35,968	60,699	67,984	57,801	51,845	66,691	50,591	58,829	55,008	48,954	38,392	21,868	22,031
■リピーター	78,288	76,493	127,781	144,100	133,318	111,971	120,457	93,363	111,499	116,115	88,394	78,549	55,564	56,857
合計	114,865	112,461	188,480	212,084	191,119	163,816	187,148	143,954	170,328	171,123	137,348	116,941	77,432	78,888



【傾向】

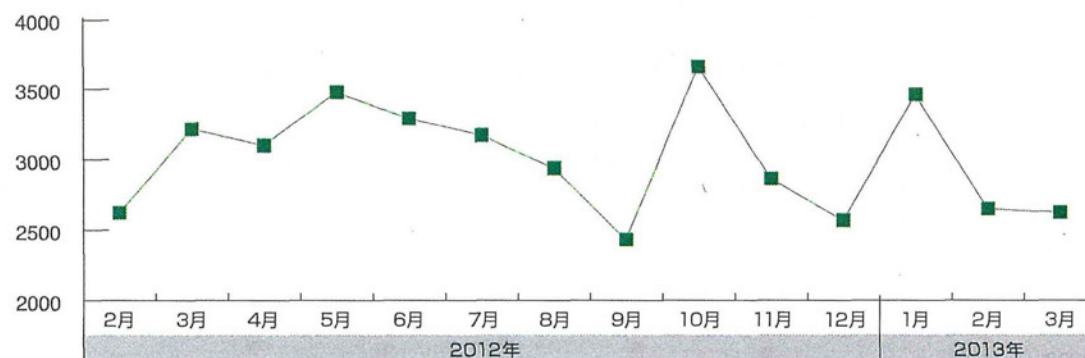
2012年はセッション数とほぼ同様の推移となっているが、2013年2月より大幅に減少し、新規ユーザーとリピーターの比率にも変化が見られた。

【考察】

2013年の2、3月のページビューの落ち込みについては、2013年1月のリニューアルにより、それまで1ページごとにカウントしていた臨床研究入門初級編が、動画として統合されたことが原因。また、セッション数同様、60%後半で推移していたリピーターのページビューの比率が72%に上がったが、こちらも初級編が動画統合されたことにより、初級編利用の多い新規ユーザーのPV比率が下がったものと思われる。

■ ユニークユーザー数

	2012年											2013年		
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ユニークユーザー	2,622	3,215	3,102	3,480	3,293	3,175	2,943	2,432	3,669	2,869	2,570	3,469	2,653	2,629



【傾向】

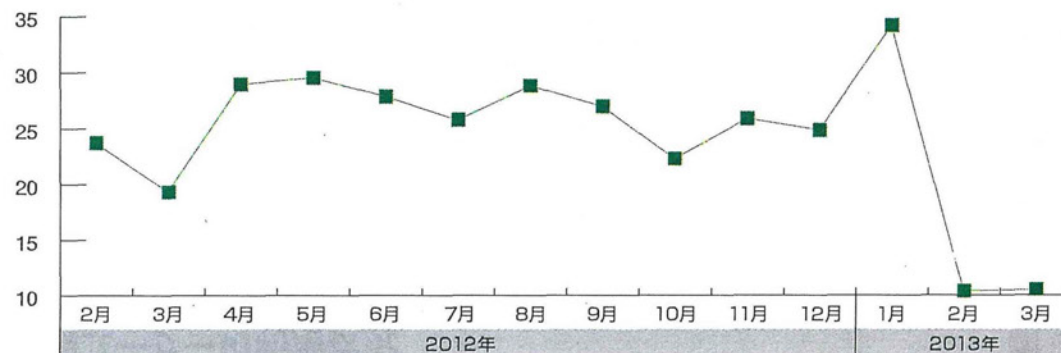
2012年2月から5月にかけてピークを迎えるも、9月までは下落基調が続く。10月は反転し最高値となるも、年末に向け再度下落。リニューアルにより、2013年1月は復調するが、2月、3月は2600前後で大きな変化はない。

【考察】

期間内の月平均は3,008ユニークユーザーとなっており、こちらと比較するとリニューアル後の2、3月のユニークユーザー数は比較的少なくなっている。新規ユーザーの訪問数の減少が原因と思われるが、リニューアルによるページ数減少で、外部からの入口ページが減ったことや、ページ構成や内容の変更に伴って、これまでのキーワードの検索順位が一時的に下がった可能性も考えられ、ここ数ヶ月間様子を見ていく必要がある。

■ 平均ページビュー

	2012年												2013年		
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ユニークユーザー	23.73	19.35	28.97	29.54	27.85	25.79	28.81	26.97	22.29	25.88	24.85	34.19	10.36	10.51	



【傾向】

2012年3月に一旦下落するも、その後は12月まで22～29ページで推移。1月に最高値となるが、2013年2月、3月は2012年の半分以下のページビューに。

【考察】

リニューアルにより大きくページ構成が変わったため、平均ページビューについては比較することが難しい。数字だけ見ればネガティブ要素となるが、リニューアルによって、効率よく目的を果たせるようになり、ページビューが減ったのであれば、ポジティブに考える必要がある。

■新規ユーザーの利用状況

解析項目	利用状況		
	2013年	2012年	増減
1訪問あたりの平均閲覧ページ数	12.55	17.71	△5.16
平均サイト滞在時間	0:12:03	0:08:16	0:03:47
直帰率	30.93%	45.86%	△14.93%

【傾向】 1訪問あたりの平均閲覧ページ数は3割減ったものの、平均サイト滞在時間では4分近く増加している。また、直帰率では約15%の改善が見られた。

【考察】

平均閲覧ページ数は減ったものの、直帰率が30%前半まで減り、滞在時間も3分以上増えたことから、新規ユーザーの利用という点では、リニューアルによって一定の効果があったと思われる。

■リピーターの利用状況

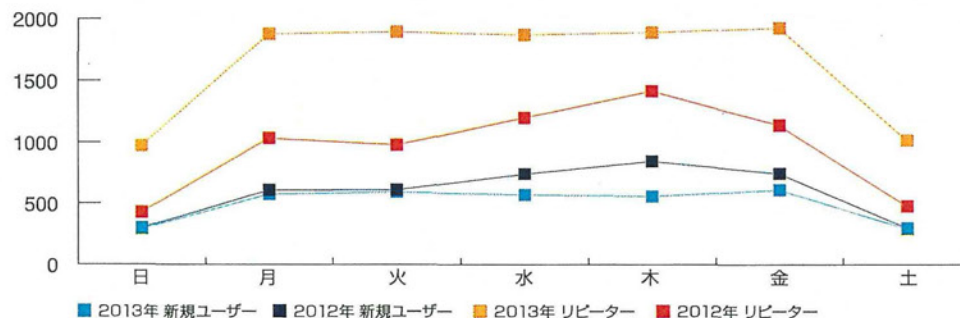
解析項目	利用状況		
	2013年	2012年	増減
1訪問あたりの平均閲覧ページ数	9.79	23.53	△13.74
平均サイト滞在時間	0:11:45	0:14:25	△0:02:40
直帰率	37.35%	34.20%	3.15%

【傾向】 1訪問あたりの平均閲覧ページ数は5割以上、平均サイト滞在時間では3分近く減少している。また、直帰率が約3%増加した。

【考察】

平均ページビューが減ったのはページ構成が変更された要因もあるが、滞在時間が減少し、直帰率も増加していることから、十分にリピーターの興味を惹いていない可能性がある。リピーターの目線に立って、まずはトップページのコピーやアピールするコンテンツの見せ方を改善する必要がある。

■曜日別アクセス状況

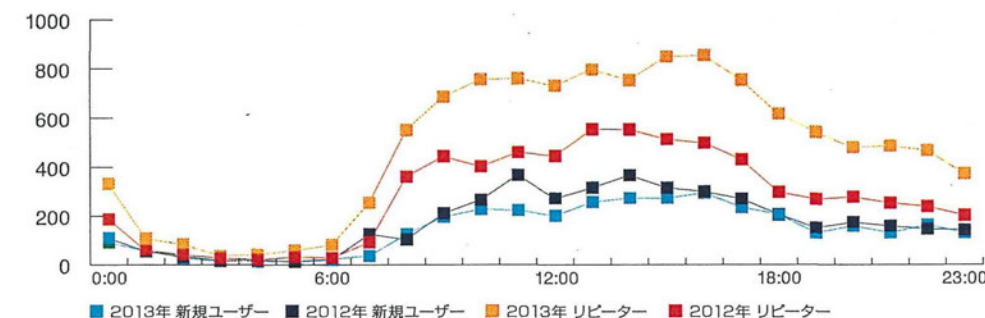


【傾向】 2012年は新規ユーザー、リピーターともに木曜日にセッションが多くなる傾向があったが、2013年の平日では特に差異は見られない。

【考察】

土日のアクセスを増やすことで、平日も含めた全体的なアクセス数の底上げにつなげたいところ。アイデアとして、土日限定の講義をアップしたり、翌週からの受講モデルパターンの提案や、「土日で身に着けたい〇〇の知識」等のコピーで、金曜日に週末のサイト利用を促すメール配信があるとよい。

■時間帯別アクセス状況



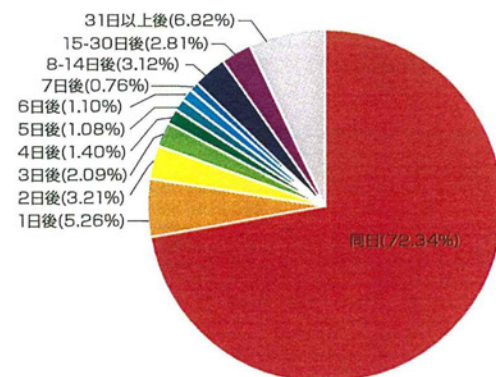
【傾向】 午前中は10～11時、午後は14～16時がピークとなっており、18時から0時まではほぼ横ばいで推移。

【考察】

日中に施設や職場でよく利用されていることがわかる。曜日別同様、日中以外の利用を促進したい。アイデアとして、朝、夕の通勤時間帯に、モバイル端末でPodcast受講ができる講義を紹介するメール配信を行ったり、18時以降の時間限定で特別講義を公開する等、その時間帯でしか得られない特典をユーザーにアピールしたい。

リピーターの訪問頻度

訪問間隔	訪問数		
	2013年	2012年	比較
■ 同日	10,836	7,507	3,329
■ 1日後	788	518	270
■ 2日後	481	290	191
■ 3日後	313	213	100
■ 4日後	210	131	79
■ 5日後	162	104	58
■ 6日後	165	100	65
■ 7日後	114	86	28
■ 8-14日後	467	305	162
■ 15-30日後	421	375	46
■ 31-60日後	302	280	22
■ 61-120日後	267	323	△56
■ 121-364日後	355	479	△124
■ 365日以上後	98	159	△61



【傾向】

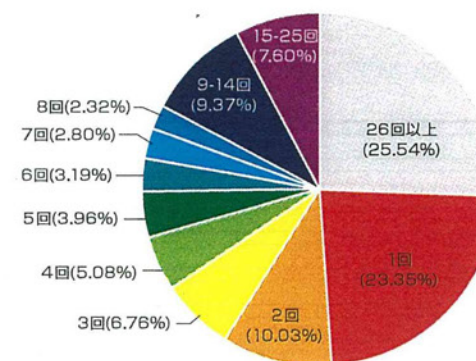
- ・同日中に再訪問するユーザーは72%
- ・1週間以内に再訪問するユーザーは87%
- ・1ヶ月以内に再訪問するユーザーは93%
- ・同日に再訪問するユーザーは前年比144%
- ・2ヶ月後以降に再訪問するユーザーは前年比75%

【考察】

初訪問したその日のうちに再訪問するユーザーが72%、1週間以内では87%となっており、2012年と比較しても、短期間に集中して履修し、修了証を取得しているユーザーが多いことがわかる。今後の課題は、修了証取得済みユーザーの再訪問頻度を高めることであるが、まずは、毎日チェックしたくなるようなコンテンツを検討し、サイトの更新およびメール配信の頻度を増やしていくことが必要である。

リピーターの訪問回数

訪問回数	訪問数		
	2013年	2012年	比較
■ 1回	3,498	4,163	△665
■ 2回	1,503	1,329	174
■ 3回	1,012	813	199
■ 4回	761	596	165
■ 5回	593	448	145
■ 6回	478	339	139
■ 7回	420	281	139
■ 8回	347	222	125
■ 9-14回	1,404	809	595
■ 15-25回	1,138	584	554
■ 26-50回	1,034	392	642
■ 51-100回	777	190	587
■ 101-200回	519	297	222
■ 201回以上	1,495	407	1,088



【傾向】

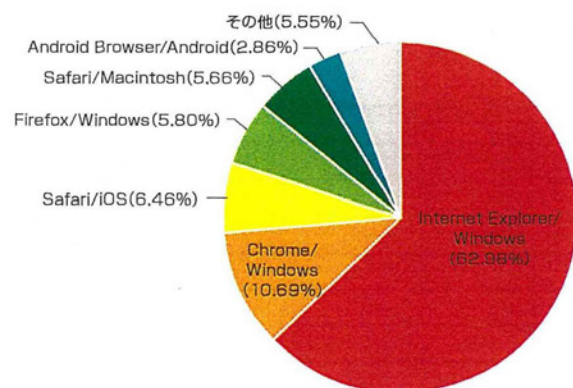
- ・1回が最も多く、次いで2回、201回以上が続く
- ・全体的には1~3回、9~50回、201回以上が多い
- ・1回は前年比84%、201回以上は前年比367%

【考察】

2012年と比較し、訪問回数は確実に増えている印象。システムの変更により、ビデオ講義が途中で止めても再度同じ所から受講できるようになったことや、臨床研究の基礎知識講座以外の講座の修了証発行により、ユーザーの学習意欲が高まったことも、訪問回数増加の要因と考えられる。

■新規ユーザーの閲覧環境(ブラウザ/OS)

ブラウザ/OS	セッション		
	2013年	2012年	増減
Internet Explorer/Windows	2,203	2,830	△627
Chrome/Windows	374	357	17
Safari/iOS	226	-	226
Firefox/Windows	203	178	25
Safari/Macintosh	198	373	△175
Android Browser/Android	100	109	△9
その他	194	316	△122



【傾向】

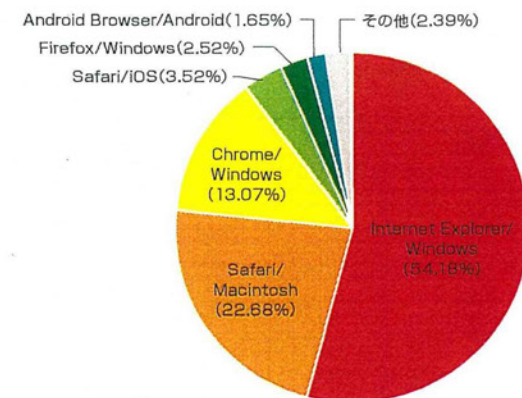
- ・上位3位はInternet Explorer/Windows、Chrome/Windows、Safari/iOS。
- ・Safari/Macintoshは5.88%で5位
- ・Internet Explorer/Windowsは前年比77%
- ・Safari/Macintoshは前年比53%

【考察】

1位は新規ユーザー、リピーターともにInternet Explorer/Windowsだが、2位は新規ユーザーではWindows、Chrome、リピーターではSafari/Macintoshとなっており、リピーターのMacintosh利用者が多いのが特徴的。また、前回調査(2010年3月)では、Internet Explorerが80%以上のシェアだったが、今回の調査では大幅に減少し、SafariやChromeの躍進が目立つ。Androidは目立たないものの、Safari/iOS(iPhone、iPad、iPod)の利用者は着実に増えており、タブレッ

■リピーターユーザーの閲覧環境(ブラウザ/OS)

ブラウザ/OS	セッション		
	2013年	2012年	増減
Internet Explorer/Windows	6,220	4,631	1,589
Safari/Macintosh	2,604	715	1,889
Chrome/Windows	1,501	467	1,034
Safari/iOS	404	127	277
Firefox/Windows	289	314	△25
Android Browser/Android	189	112	77
その他	274	341	△67



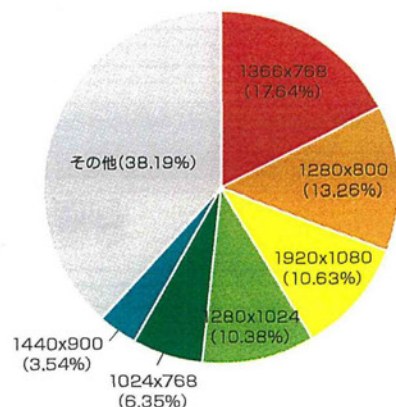
【傾向】

- ・上位3位はInternet Explorer/Windows、Safari/Macintosh、Chrome/Windows。
- ・Safari/Macintoshは22.68%で2位
- ・Internet Explorer/Windowsは前年比134%
- ・2012年に比べ、Safari/Macintoshは前年比364%

トやスマートフォンデバイスに対応したサイト構築が急務である。これらのデバイス対応ができると、ユーザーの学習環境の幅が広がり、アクセス数や利用者も増えテイクアウトが考えられる。

■新規ユーザーの閲覧環境(画面解像度)

画面解像度	セッション		
	2013年	2012年	増減
1366x768	617	513	104
1280x800	464	934	△470
1920x1080	372	316	56
1280x1024	363	531	△168
1024x768	222	482	△260
1440x900	124	176	△52
その他	1,336	1,211	125



【傾向】

- ・上位3位は1366x768、1280x800、1920x1080
- ・1366x768は前年比120%
- ・1280x800は前年比49%

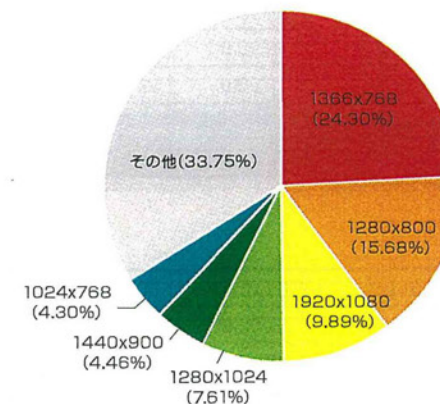
【考察】

新規ユーザー、リピーターともに利用しているモニターの上位は変わらなかったものの、横縦比4:3や5:4ではなく、8:5や16:9などのワイドディスプレイが主流になっており、その傾向はリピーターのほうが強くなっている。

横の視界が広がってはいるが、横への目線移動は限界があるため、単に横幅を広げるのではなく、2列、3列でレイアウトする等、読みやすさに配慮していく必要がある。

■リピーターユーザーの閲覧環境(画面解像度)

画面解像度	セッション		
	2013年	2012年	増減
1366x768	2,790	880	1,910
1280x800	1,800	1,284	516
1920x1080	1,136	667	469
1280x1024	874	963	△89
1440x900	512	401	111
1024x768	494	592	△98
その他	3,875	1,920	1,955



【傾向】

- ・上位3位は1366x768、1280x800、1920x1080
- ・1366x768は前年比417%
- ・1280x800は前年比140%

逆に縦の視界が狭くなっているにも関わらず、昨今は多くの情報を1ページに詰め込んだ縦長ページも多くなってきており、縦移動やグローバルナビゲーションへの気配りも必要となる。

■新規ユーザーのモバイル動向

順位	デバイス	セッション		平均ページビュー		平均滞在時間		直帰率	
		2013年	2012年	2013年	2012年	2013年	2012年	2013年	2012年
1	Apple iPhone	153	107	4.27	5.1	0:03:11	0:02:54	57.52%	57.94%
2	Apple iPad	99	66	7.98	16.14	0:06:06	0:07:52	29.29%	48.48%
3	Apple iPod	6	7	3	4.57	0:00:34	0:01:53	66.67%	28.57%
4	DoCoMo SC-06D Galaxy SIII LTE	6	-	5	-	0:04:20	-	33.33%	-
5	Panasonic P-02D LUMIX Phone P-02D for DoCoMo	6	-	28.33	-	0:27:29	-	16.67%	-
6	KDDI IS12S acro HD IS12S	5	-	25	-	0:21:15	-	40.00%	-
7	DoCoMo SO-03D Xperia acro HD	4	-	24.5	-	0:58:09	-	0.00%	-
8	Samsung SC-02C Galaxy S II SC-02C for DoCoMo	4	9	42.25	3.33	0:27:25	0:03:07	50.00%	55.56%
9	Sharp IS05 IS05 for KDDI	4	4	2.5	1.00	0:00:51	0:00:00	75.00%	100.00%
10	Sharp IS11SH AQUOS PHONE IS11SH for KDDI au	4	1	1.5	2.00	0:01:59	0:00:19	75.00%	0.00%

■リピーターのモバイル動向

順位	デバイス	セッション		平均ページビュー		平均滞在時間		直帰率	
		2013年	2012年	2013年	2012年	2013年	2012年	2013年	2012年
1	Apple iPad	240	80	7.74	27.38	0:06:43	0:16:48	47.08%	31.25%
2	Apple iPhone	158	129	7.12	12.12	0:06:52	0:13:42	48.73%	34.11%
3	DoCoMo SO-05D Xperia SX	57	-	1.56	-	0:02:40	-	82.46%	-
4	Apple iPod	24	7	3.75	1.43	0:02:19	0:00:12	70.83%	85.71%
5	Panasonic P-02D LUMIX Phone P-02D for DoCoMo	11	-	26.45	-	0:31:16	-	9.09%	-
6	KDDI IS12S acro HD IS12S	10	-	6.6	-	0:07:51	-	40.00%	-
7	DoCoMo N-07D	9	-	1	-	0:00:00	-	100.00%	-
8	DoCoMo SC-06D Galaxy SIII LTE	8	-	1.62	-	0:00:48	-	75.00%	-
9	DoCoMo SO-03D Xperia acro HD	7	-	14	-	0:09:54	-	57.14%	-
10	Samsung GT-P7100 Galaxy Tab 10.1V	7	-	22.43	-	0:46:40	-	0.00%	-

【傾向】

- ・新規ユーザーではApple iPhone、Apple iPad、Apple iPodの順が多い
- ・リピーターではApple iPad、Apple iPhone、DoCoMo SO-05D Xperia SXの順が多い
- ・Apple iPhoneは新規ユーザーで前年比143%、リピーターは前年比122%
- ・Apple iPadは新規ユーザーで前年比150%、リピーターは前年比300%

【考察】

新規ユーザーではiPhoneが1位だが、リピーターはiPadユーザーが1位となっている。昨年に比べ、モバイルでのセッション数は増えてきているものの、平均ページビューや滞在時間はPCに比べ非常に少なく、直帰率も高い。これは明らかに使い勝手の問題だと思われ、対応が必要である。

■新規ユーザーのアクセス元

アクセス元	セッション			平均ページビュー		
	2013年	2012年	増減	2013年	2012年	増減
ノーリファラー	1,477	2,644	△1,167	10.94	22.53	△11.59
参照サイト	616	583	33	13.99	21.98	△7.99
検索サイト	1,405	936	469	13.61	4.59	9.02

■リピーターのアクセス元

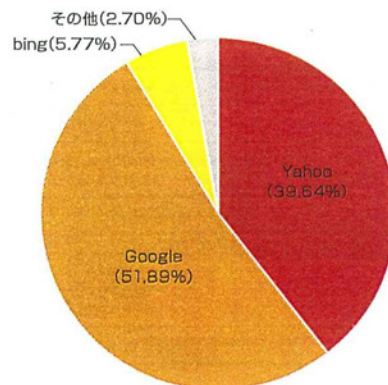
アクセス元	セッション			平均ページビュー		
	2013年	2012年	増減	2013年	2012年	増減
ノーリファラー	5,370	4,681	689	8.00	22.53	△14.53
参照サイト	1,800	1,086	714	11.2	27.47	△16.27
検索サイト	4,311	940	3,371	11.43	23.95	△12.52

■新規ユーザーが利用している検索サイト

検索エンジン	セッション			平均ページビュー		
	2013年	2012年	増減	2013年	2012年	増減
yahoo	557	348	209	16.48	3.78	12.7
google	729	478	251	11.39	3.71	7.68
bing	81	110	△29	16.02	10.95	5.07
その他	38	-	38	8.92	-	8.92

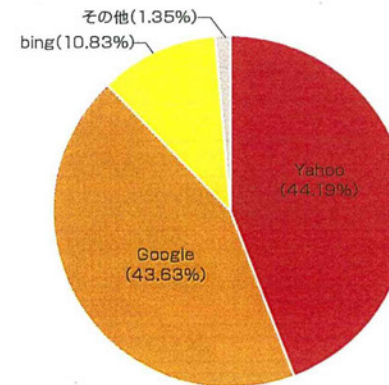
■リピーターが利用している検索サイト

検索エンジン	セッション			平均ページビュー		
	2013年	2012年	増減	2013年	2012年	増減
yahoo	1,905	295	1,610	11.71	24.29	△12.58
google	1,881	439	1,442	11.31	21.28	△9.97
bing	467	206	261	10.01	29.15	△19.14
その他	58	-	58	18.03	-	18.03



【傾向】

- ・アクセス元の比率は、ノーリファラー43%、検索サイト40%、参照サイト17%の順
- ・ノーリファラーは前年比55%
- ・検索サイトは前年比150%
- ・検索サイトの平均ページビューのみ前年より増加
- ・検索サイトの利用では、Googleが52%で1位
- ・Googleは前年比152%、Yahooは前年比160%



【傾向】

- ・アクセス元の比率は、ノーリファラー47%、検索サイト37%、参照サイト16%の順
- ・ノーリファラーは前年比114%
- ・検索サイトは前年比458%
- ・いずれのアクセス元も平均ページビューが前年より減少
- ・検索サイトの利用では、Yahooが44%で1位
- ・Googleは前年比428%、Yahooは前年比645%

【考察】

アクセス元では、新規ユーザー、リピーターともにノーリファラー（ブックマークやURL直接入力）がもっとも多いが、前回調査（2010年3月）では、ノーリファラーが70%だったことを考えると、大きく減少しており、2012年と比較してもわかるとおり、逆に検索サイトからの流入の増加が目立つ。リニューアルによって、これまでより多くのキーワードが検索サイトで上位に表示されるようになったことが考えられる。

また、最も利用されている検索サイトでは、新規ユーザーがGoogleなのに対して、リピーターではYahooとなっており、bingもリピーターでは10%が利用している。現在、Yahooの検索エンジンはGoogleのエンジンを使っているため、どちらで検索してもほとんど順位の差異はなく、SEOに関してはGoogleに特化して行っていけばよい。

■新規ユーザーの参照元サイト

順位	参照元	セッション		平均ページビュー	
		2013年	2012年	2013年	2012年
1	学校法人順天堂	51	45	25.14	44.87
2	帝京大学	42	28	7.26	33.14
3	岡山大学医療系キャンパス	33	3	20.36	69
4	CRT-web	23	30	7.39	12.63
5	北野病院	18	12	13.72	8.58
6	秋田大学 大学院医学系研究科・医学部	17	11	16.12	12.36
7	大阪医科大学 財務部	16	12	29.94	24.5
8	株式会社イーピーメント	15	21	2.33	3.33
9	弘前大学	14	27	11.50	29.00
10	埼玉医科大学	11	20	36.00	44.95

【傾向】

- ・新規ユーザーのセッション上位3位は順天堂、帝京大学、岡山大学医療系キャンパス
- ・新規ユーザーの平均ページビュー上位3位は埼玉医科大学、大阪医科大学財務部、順天堂
- ・新規ユーザーのセッションが最も増えたのは、岡山大学医療系キャンパスの前年比1100%
- ・リピーターのセッション上位3位は秋田大学、弘前大学、順天堂
- ・リピーターの平均ページビュー上位3位は埼玉医科大学、岡山大学医療系キャンパス、弘前大学
- ・リピーターのセッションが最も増えたのは、長崎大学病院の前年比2550%

■新規ユーザーのソーシャルネットワークからの参照

順位	ソーシャルネットワーク	セッション		平均ページビュー	
		2013年	2012年	2013年	2012年
1	Facebook	29	51	6.89	6.06
2	Twitter	-	-	-	-

【傾向】

- ・Twitterからの流入は新規ユーザー、リピーターともになし
- ・Facebookのセッションは新規ユーザーが前年比43%、リピーターでは前年比17%

■リピーターの参照元サイト

順位	参照元	セッション		平均ページビュー	
		2013年	2012年	2013年	2012年
1	秋田大学 大学院医学系研究科・医学部	209	66	2.61	34.29
2	弘前大学大学院医学研究科	133	16	10.92	35.38
3	学校法人順天堂	132	56	9.14	51.64
4	帝京大学	126	84	10.82	40.9
5	岡山大学医療系キャンパス	98	25	14.76	24.88
6	長崎大学病院	51	2	5.88	33.5
7	弘前大学医学部保健学科	50	8	11.32	45.00
8	埼玉医科大学	37	33	22.76	63.61
9	東京大学	36	-	8.42	-
10	三重大学	30	6	8.37	8.67

【考察】

全体のセッション数から見ると、参照サイトからの流入は少ないと言えるが、2012年と比較して、リピーターの各参照元のセッション数増加が目立つ。大部分は大学のサイトからのアクセスとなっており、企業では唯一、株式会社イーピーメントがランクインしている。当サイトを利用している大学や企業・施設には、引き続き相互リンクをお願いし、多くのリンクを集めたい。

■リピーターのソーシャルネットワークからの参照

順位	ソーシャルネットワーク	セッション		平均ページビュー	
		2013年	2012年	2013年	2012年
1	Facebook	9	52	5.88	8.78
2	Twitter	-	1	-	1.00

【考察】

リニューアル直後の影響もあるが、SNSからのアクセスは殆どない状況となっている。ソーシャルボタンは導入されているが、SNSとの連携は昨今のサイトでは重要なため、Facebookページの活用や、いいねを押した人の顔が表示されるFacepile、コメントが表示されるCommentsプラグイン等の導入を検討したい。また、twitterについては、ICRwebのアカウントによるツイートを復活させ、サイト内に表示させたいところ。

■新規ユーザーに見られているコンテンツと離脱率

順位	ページ名	ページビュー		離脱率	
		2013年	2012年	2013年	2012年
1	トップページ	7,363	11,658	20.94%	15.44%
2	講座一覧	5,510	897	8.80%	11.48%
3	臨床研究の基礎知識	2,263	-	3.71%	-
4	ICR臨床研究入門: ログイン画面	2,067	-	3.73%	-
5	ユーザー登録	1,715	-	4.49%	-
6	コース: 1. 臨床研究概論	1,545	525	2.91%	0.76%
7	ログイン情報のリクエスト	942	-	3.29%	-
8	2. 治療開発のための研究1: 臨床試験_章末テスト	783	-	3.32%	-
9	1. 臨床研究概論【アンケート】	680	545	0.15%	0.18%
10	1. 臨床研究概論: 臨床研究概論	676	525	9.47%	0.76%
11	2. 治療開発のための研究1: 臨床試験_2. 治療開発のための研究1: 臨床試験_章末テスト	673	-	1.73%	-
12	コース: 2. 治療開発のための研究1: 臨床試験	631	515	3.80%	1.17%
13	ICR臨床研究入門: 仮登録を受け付けました	552	-	3.44%	-
14	用語集	501	204	16.57%	4.41%
15	全講座履修コース (推奨)	485	-	6.80%	-
16	2. 治療開発のための研究1: 臨床試験_2. 治療開発のための研究1: 臨床試験	461	515	22.56%	1.17%
17	3. 治療開発のための研究2: 非臨床試験_章末テスト	450	-	0.89%	-
18	2. 治療開発のための研究1: 臨床試験_アンケート	448	352	0.00%	3.77%
19	7. 生物統計学1: 仮説検定_章末テスト	444	-	1.80%	-
20	ICR臨床研究入門: ユーザー登録が完了しました	436	-	8.49%	-

【傾向】

- ・新規ユーザー、リピーターともに上位4位までは同じページがランクイン
- ・2012年と比較し、リニューアル前より存在するページのページビューは、新規ユーザー、リピーターともにすべて増加
- ・トップページのページビューは、新規ユーザーが前年比63%、リピーターが前年比106%
- ・講座一覧のページビューは、新規ユーザーが前年比614%、リピーターが前年比1317%
- ・2012年と比較し、トップページの離脱率は、新規ユーザーが5.5%増加、リピーターが12.47%増加
- ・2012年と比較し、講座一覧の離脱率は、新規ユーザーが2.68%減少、リピーターが7.22%減少

■リピーターに見られているコンテンツと離脱率

順位	ページ名	ページビュー		離脱率	
		2013年	2012年	2013年	2012年
1	トップページ	18,120	17,041	29.11%	16.64%
2	講座一覧	16,180	1,228	10.04%	17.26%
3	臨床研究の基礎知識	4,674	-	2.57%	-
4	ICR臨床研究入門: ログイン画面	3,371	-	5.28%	-
5	コース: 1. 臨床研究概論	1,822	676	4.17%	0.59%
6	2. 治療開発のための研究1: 臨床試験_章末テスト	1,815	-	4.35%	-
7	7. 生物統計学1: 仮説検定_章末テスト	1,774	-	2.54%	-
8	総合テスト	1,649	938	4.55%	2.13%
9	2. 治療開発のための研究1: 臨床試験_2. 治療開発のための研究1: 臨床試験_章末テスト	1,591	-	2.26%	-
10	4. 治療開発のための研究3: 治験_章末テスト	1,397	-	2.51%	-
11	1. 臨床研究概論: 総合テスト	1,349	-	1.63%	-
12	7. 生物統計学1: 仮説検定_7. 生物統計学1: 仮説検定_章末テスト	1,344	-	1.41%	-
13	6. 病気の原因を調べるための疫学研究2: コホート研究_章末テスト	1,286	-	1.56%	-
14	9. 研究倫理と被験者保護_章末テスト	1,280	-	2.42%	-
15	3. 治療開発のための研究2: 非臨床試験_章末テスト	1,271	-	1.49%	-
16	ログイン情報のリクエスト	1,258	-	2.15%	-
17	コース: 2. 治療開発のための研究1: 臨床試験	1,231	926	5.93%	1.62%
18	8. 生物統計学2: 交絡・ランダム化と因果推論_章末テスト	1,231	-	5.93%	-
19	コース: 3. 治療開発のための研究2: 非臨床試験	1,144	519	3.85%	4.82%
20	4. 治療開発のための研究3: 治験_4. 治療開発のための研究3: 治験_章末テスト	1,138	-	1.05%	-

【考察】

新規ユーザー、リピーターともに20位以内はほとんど臨床研究基礎知識講座内のページとなり、修了証取得を目的としてサイトを利用しているユーザーが多いことがわかる。
新規ユーザーのトップページのページビューは減ったものの、新規ユーザー、リピーターともにその他のページのページビューが増加。離脱率についても、目的を達成してページを離れたことも考えられるため、一概に離脱率だけで判定するのは難しいが、どのページも30%以下となっており、リニューアルに一定の成果があったものと思われる。

■ 新規ユーザーに見られているコンテンツと平均滞在時間

順位	ページ名	ページビュー		平均滞在時間	
		2013年	2012年	2013年	2012年
1	トップページ	7,363	11,658	0:00:58	00:00:47
2	講座一覧	5,510	897	0:00:38	00:00:54
3	臨床研究の基礎知識	2,263	-	0:00:22	-
4	ICR臨床研究入門: ログイン画面	2,067	-	0:00:25	-
5	ユーザー登録	1,715	-	0:01:52	-
6	コース: 1. 臨床研究概論	1,545	525	0:00:39	00:00:13
7	ログイン情報のリクエスト	942	-	0:00:36	-
8	2. 治療開発のための研究1: 臨床試験_章末テスト	783	-	0:03:21	-
9	1. 臨床研究概論【アンケート】	680	545	0:00:17	00:00:09
10	1. 臨床研究概論: 臨床研究概論	676	525	0:03:26	00:00:13
11	2. 治療開発のための研究1: 臨床試験_2. 治療開発のための研究1: 臨床試験_章末テスト	673	-	0:00:21	-
12	コース: 2. 治療開発のための研究1: 臨床試験	631	515	0:00:56	00:00:12
13	ICR臨床研究入門: 仮登録を受け付けました	552	-	0:00:36	-
14	用語集	501	204	0:00:44	00:00:07
15	全講座履修コース (推奨)	485	-	0:00:28	-
16	2. 治療開発のための研究1: 臨床試験_2. 治療開発のための研究1: 臨床試験	461	515	0:07:31	00:00:12
17	3. 治療開発のための研究2: 非臨床試験_章末テスト	450	-	0:01:15	-
18	2. 治療開発のための研究1: 臨床試験_アンケート	448	352	0:00:12	00:01:25
19	7. 生物統計学1: 仮説検定_章末テスト	444	-	0:02:22	-
20	ICR臨床研究入門: ユーザー登録が完了しました	436	-	0:00:27	-

【傾向】

- ・2012年と比較し、トップページの平均滞在時間は、新規ユーザーが11秒、リピーターが38秒増加
- ・2012年と比較し、講座一覧の平均滞在時間は、新規ユーザーが16秒、リピーターが22秒減少
- ・新規ユーザーの章末テストの所要時間は21秒～3分21秒、リピーターは15秒～3分57秒
- ・新規ユーザーで滞在時間が特に長いのは、「2. 治療開発のための研究1: 臨床試験: 2. 治療開発のための研究1: 臨床試験」で7分31秒
- ・リピーターで滞在時間が特に長いのは、「総合テスト」で4分59秒

■ リピーターに見られているコンテンツと平均滞在時間

順位	キーワード	ページビュー		平均滞在時間	
		2013年	2012年	2013年	2012年
1	トップページ	18,120	17,041	0:01:23	00:00:45
2	講座一覧	16,180	1,228	0:00:44	00:01:06
3	臨床研究の基礎知識	4,674	-	0:00:19	-
4	ICR臨床研究入門: ログイン画面	3,371	-	0:00:28	-
5	コース: 1. 臨床研究概論	1,822	676	0:00:44	00:00:15
6	2. 治療開発のための研究1: 臨床試験_章末テスト	1,815	-	0:03:57	-
7	7. 生物統計学1: 仮説検定_章末テスト	1,774	-	0:03:04	-
8	総合テスト	1,649	938	0:04:59	00:00:38
9	2. 治療開発のための研究1: 臨床試験_2. 治療開発のための研究1: 臨床試験_章末テスト	1,591	-	0:00:26	-
10	4. 治療開発のための研究3: 治験_章末テスト	1,397	-	0:02:39	-
11	1. 臨床研究概論: 総合テスト	1,349	-	0:00:15	-
12	7. 生物統計学1: 仮説検定: 7. 生物統計学1: 仮説検定_章末テスト	1,344	-	0:00:17	-
13	6. 病気の原因を調べるための疫学研究2: コホート研究_章末テスト	1,286	-	0:01:44	-
14	9. 研究倫理と被験者保護_章末テスト	1,280	-	0:03:01	-
15	3. 治療開発のための研究2: 非臨床試験_章末テスト	1,271	-	0:01:54	-
16	ログイン情報のリクエスト	1,258	-	0:00:38	-
17	コース: 2. 治療開発のための研究1: 臨床試験	1,231	926	0:00:56	00:00:16
18	8. 生物統計学2: 交絡・ランダム化と因果推論_章末テスト	1,231	-	0:00:56	-
19	コース: 3. 治療開発のための研究2: 非臨床試験	1,144	519	0:00:48	00:00:24
20	4. 治療開発のための研究3: 治験_4. 治療開発のための研究3: 治験_章末テスト	1,138	-	0:00:19	-

【考察】

講義やテストについては、リニューアル前後での比較が難しいが、リニューアル後のほうが滞在時間が延びている。講座一覧ページの平均滞在時間は、前年および前回調査時(2010年3月)に比べ短くなり、離脱率も下がっていることから、サイトで受講できる講義が俯瞰しやすくなり、ユーザーが目的としているページにうまくナビゲートできているものと思われる。

■ 新規ユーザーに見られているコンテンツと直帰率

順位	ページ名	ページビュー		直帰率	
		2013年	2012年	2013年	2012年
1	トップページ	7,363	11,658	29.18%	31.18%
2	講座一覧	5,510	897	54.81%	57.14%
3	臨床研究の基礎知識	2,263	-	20.69%	-
4	ICR臨床研究入門: ログイン画面	2,067	-	12.90%	-
5	ユーザー登録	1,715	-	37.50%	-
6	コース: 1. 臨床研究概論	1,545	525	0.00%	0.00%
7	ログイン情報のリクエスト	942	-	33.33%	-
8	2. 治療開発のための研究1: 臨床試験_章末テスト	783	-	0.00%	-
9	1. 臨床研究概論【アンケート】	680	545	0.00%	0.00%
10	1. 臨床研究概論: 臨床研究概論	676	525	0.00%	0.00%
11	2. 治療開発のための研究1: 臨床試験_2. 治療開発のための研究1: 臨床試験_章末テスト	673	-	0.00%	-
12	コース: 2. 治療開発のための研究1: 臨床試験	631	515	0.00%	100.00%
13	ICR臨床研究入門: 仮登録を受け付けました	552	-	0.00%	-
14	用語集	501	204	59.62%	25.00%
15	全講座履修コース(推奨)	485	-	33.33%	-
16	2. 治療開発のための研究1: 臨床試験_2. 治療開発のための研究1: 臨床試験	461	515	0.00%	100.00%
17	3. 治療開発のための研究2: 非臨床試験_章末テスト	450	-	0.00%	-
18	2. 治療開発のための研究1: 臨床試験_アンケート	448	352	0.00%	33.33%
19	7. 生物統計学1: 仮説検定_章末テスト	444	-	0.00%	-
20	ICR臨床研究入門: ユーザー登録が完了しました	436	-	22.94%	-

【傾向】

- ・2012年と比較し、トップページの直帰率は、新規ユーザーが2%減少、リピーターが10.6%増加
- ・2012年と比較し、講座一覧の直帰率は、新規ユーザーが2.3%減少、リピーターが4.4%減少
- ・新規ユーザーで直帰率が特に高いのは、「用語集」で59.62%
- ・リピーターで直帰率が特に高いのは、「講座一覧」で50.14%

■ リピーターに見られているコンテンツと直帰率

順位	キーワード	ページビュー		直帰率	
		2013年	2012年	2013年	2012年
1	トップページ	18,120	17,041	45.04%	34.35%
2	講座一覧	16,180	1,228	50.14%	54.55%
3	臨床研究の基礎知識	4,674	-	15.97%	-
4	ICR臨床研究入門: ログイン画面	3,371	-	30.33%	-
5	コース: 1. 臨床研究概論	1,822	676	23.53%	0.00%
6	2. 治療開発のための研究1: 臨床試験_章末テスト	1,815	-	4.00%	-
7	7. 生物統計学1: 仮説検定_章末テスト	1,774	-	4.17%	-
8	総合テスト	1,649	938	0.00%	2.27%
9	2. 治療開発のための研究1: 臨床試験_2. 治療開発のための研究1: 臨床試験_章末テスト	1,591	-	0.00%	-
10	4. 治療開発のための研究3: 治験_章末テスト	1,397	-	0.00%	-
11	1. 臨床研究概論: 総合テスト	1,349	-	9.09%	-
12	7. 生物統計学1: 仮説検定: 7. 生物統計学1: 仮説検定_章末テスト	1,344	-	0.00%	-
13	6. 病気の原因を調べるための疫学研究2: コホート研究_章末テスト	1,286	-	10.00%	-
14	9. 研究倫理と被験者保護_章末テスト	1,280	-	7.14%	-
15	3. 治療開発のための研究2: 非臨床試験_章末テスト	1,271	-	0.00%	-
16	ログイン情報のリクエスト	1,258	-	14.29%	-
17	コース: 2. 治療開発のための研究1: 臨床試験	1,231	926	28.57%	7.69%
18	8. 生物統計学2: 交絡・ランダム化と因果推論_章末テスト	1,231	-	28.57%	-
19	コース: 3. 治療開発のための研究2: 非臨床試験	1,144	519	3.33%	12.50%
20	4. 治療開発のための研究3: 治験_4. 治療開発のための研究3: 治験_章末テスト	1,138	-	0.00%	-

【考察】

新規ユーザーのトップページ直帰率が29.18%と、非常に低いのに比べ、リピーターでは45.04%と半数近いユーザーが直帰してしまっている。リピーターはトップページでサイトの更新状況だけ確認し立ち去ることも多いためだが、前年よりも10.6%も増加しているため、対策を講じていきたい。また講座一覧ページについては、比較的多くのキーワードで検索にヒットしているものと思われ、ページ内容を確認して立ち去るユーザーも多いと推測する。前年よりも直帰率は減ってはいるものの、こちらも見込みユーザーを取りこぼさないように、対策を講じたい。

■ 新規ユーザー閲覧開始ページと直帰率

順位	ページ名	閲覧開始数		直帰率	
		2013年	2012年	2013年	2012年
1	トップページ	2,875	2,646	29.18%	31.18%
2	ICR臨床研究入門:ユーザー登録が完了しました	109	-	22.94%	-
3	講座一覧	104	7	54.81%	57.14%
4	ユーザ登録はすでに承認されています。	53	-	13.21%	-
5	用語集	52	4	59.62%	25.00%
6	ICR臨床研究入門: ログイン画面	31	-	12.90%	-
7	ICRWebのご紹介	29	19	41.38%	36.84%
8	臨床研究の基礎知識	29	-	20.69%	-
9	ログイン情報のリクエスト	27	-	33.33%	-
10	一般の方	18	-	55.56%	-
11	エラー	15	-	100.00%	-
12	リンク集	14	1	71.43%	0.00%
13	倫理審査委員会コース	14	-	57.14%	-
14	CRC・DMコース	11	-	72.73%	-
15	疫学者コース	11	-	36.36%	-
16	アーカイブ(第13回JCOG)	9	0	33.33%	0.00%
17	臨床研究者コース	9	-	77.78%	-
18	ユーザー登録	8	-	37.50%	-
19	アーカイブ(第11回JCOG)	7	0	42.86%	0.00%
20	サイトご利用方法	7	-	0.00%	-

【傾向】

- ・トップページの閲覧開始数は、新規ユーザーが前年比229増、リピーターが前年比3,015増
- ・講座一覧ページの閲覧開始数は、新規ユーザーが前年比97増、リピーターが前年比653増
- ・新規ユーザーの閲覧開始ページ数は、2013年が57ページ、2012年が174ページで、117ページ減少
- ・リピーターの閲覧開始ページ数は、2013年が223ページ、2012年が246ページで、23ページ減少
- ・新規ユーザーのトップページの閲覧開始率は、2013年が19%、2012年は64%で、45%減少
- ・リピーターのトップページの閲覧開始率は、2013年が71%、2012年は70%で、1%増加

■ リピーターの閲覧開始ページと直帰率

順位	キーワード	閲覧開始数		直帰率	
		2013年	2012年	2013年	2012年
1	トップページ	7,755	4,740	45.04%	34.35%
2	講座一覧	730	77	50.14%	54.55%
3	ICR臨床研究入門: ログイン画面	244	-	30.33%	-
4	臨床研究の基礎知識	144	-	15.97%	-
5	2. 治療開発のための研究1: 臨床試験_アンケート	135	15	0.00%	6.67%
6	ICRWebのご紹介	120	63	81.67%	41.27%
7	3. 治療開発のための研究2: 非臨床試験_アンケート	114	6	0.00%	0.00%
8	ユーザ登録はすでに承認されています。	114	-	11.40%	-
9	アンケート	89	8	0.00%	0.00%
10	エラー	69	-	2.90%	-
11	8. 生物統計学2: 交絡・ランダム化と因果推論_アンケート	62	3	1.61%	0.00%
12	ユーザー登録	58	-	27.59%	-
13	9. 研究倫理と被験者保護_アンケート	57	0	0.00%	0.00%
14	7. 生物統計学1: 仮説検定_アンケート	51	3	0.00%	66.67%
15	コース: 1. 臨床研究概論	51	13	23.53%	0.00%
16	2. 治療開発のための研究1: 臨床試験_章末テスト	50	-	4.00%	-
17	総合テスト	46	44	0.00%	2.27%
18	用語集	46	23	39.13%	13.04%
19	コース: 2. 治療開発のための研究1: 臨床試験	35	13	28.57%	7.69%
20	5. 病気の原因を調べるための疫学研究1: ケース・コントロール研究_アンケート	34	2	0.00%	0.00%

【考察】

新規ユーザーの閲覧開始ページ数(サイトの入口となったページ数)は、昨年に比べが117ページ減少しており、リニューアルによってページ数が減ったため、閲覧開始ページの数も減ったものと思われる。しかし、トップページの閲覧開始率は、2012年は64%だったものが、2013年には19%に減少。サイト内のコンテンツがセグメント化されたため、入口ページが分散し、外部からの流入がされやすくなったものと思われる。

一方、リピーターの閲覧開始ページ数とトップページの閲覧開始率は、昨年とさほど変わらなかったものの、閲覧開始数は大幅に増加した。リピーターの場合はブックマークするページがトップページになることが多いため、トップページが入口ページになるのは避けられない。

ICRwebサイト評価

キーワード調査レポート

作成日	2013年4月1日(月)		
対象URL	http://www.icrweb.jp		
解析期間	2013年2月1日(金)～2月28日(火)、3月1日(金)～3月31日(日)	対象日数	59日間
比較期間	2012年2月1日(水)～2月28日(火)、3月1日(木)～3月31日(土)	対象日数	59日間

■ 調査概要	…2
--------	----

■ 用語解説	…3
--------	----

■ サマリー	…4
--------	----

解析結果

利用検索エンジン/利用キーワードの種類

検索ユーザーのセッション/検索ユーザーの平均ページビュー

検索ユーザーの平均滞在時間

■ 動向レポート

①セッション数の多いキーワード	… 5
-----------------	-----

②上位キーワードの閲覧開始ページ	… 6
------------------	-----

③Yahooからの流入キーワード	… 7
------------------	-----

④Googleからの流入キーワード	… 8
-------------------	-----

⑤新規ユーザー/リピートユーザーの利用キーワード	… 9
--------------------------	-----

⑥新規ユーザー/リピートユーザーの平均ページビューが多いキーワード	… 10
-----------------------------------	------

⑦新規ユーザー/リピートユーザーの平均滞在時間が長いキーワード	… 11
---------------------------------	------

⑧新規ユーザー/リピートユーザーの平均PVが多いキーワードの滞在時間	… 12
------------------------------------	------

■ 調査目的

どのようなキーワードでサイトに辿り着き、どのページを閲覧しているかを確認することにより、利用者ニーズや問題点を把握します。
また、潜在顧客を集める有効キーワードを洗い出し、効果的に訪問者を集めるための施策を検討します。

■ 調査対象

<http://www.icrweb.jp/>以下の全ページ。

■ 調査期間

今回の調査では下記期間の解析を行い、前年の同時期との比較を行いました。

【解析期間】

2013年2月1日～2月28日、2013年3月1日～3月31日(59日間)

2012年2月1日～2月28日、2012年3月1日～3月31日(59日間)

※検索順位および月間検索数については、2013年4月1日現在のデータを掲載しています。

■ 調査方法

Googleが提供する高機能な無償アクセス解析ツール「Google Analytics(グーグル アナリティクス)」を使用。

新規ユーザーとリピーターでセグメントし、解析期間内のキーワードの動向を調査。「直帰率が低い」「平均ページビューが多い」「平均サイト滞在時間が長い」の指標で、キーワードを評価しています。

※当該URLでないページ(外部サイト)や、解析タグが仕組まれていないページについては解析ができません。また、解析タグが仕組まれていても、リダイレクトやSSLページからのアクセスにより正確な解析が難しい場合があります。

【解析ツール】

Google Analytics(グーグル アナリティクス)

Google Adwords(グーグルアドワーズ)キーワードツール ※月間検索ボリューム調査にて使用

【解析内容】

セッション数の多いキーワード、上位キーワードの閲覧開始ページ、Yahooからの流入キーワード、Googleからの流入キーワード、新規ユーザー/リピーターの利用キーワード、新規ユーザー/リピーターの平均ページビューが多いキーワード、新規ユーザー/リピーターの平均滞在時間が長いキーワード、新規ユーザー/リピーターの平均PVが多いキーワードの滞在時間

●セッション

訪問者がサイトを表示してから出て行くまでの動き。訪問回数。1回の訪問で何ページ表示してもセッション数は1となります。またページを表示したまま30分間何も操作がないと、セッションは終わったとみなされます。

●ページビュー(PV)

ページの表示回数。同一のユーザーが、サイト内を移動し、複数のページを閲覧した場合も、それぞれが1ページビューとして数えられます。

●平均ページビュー

サイトを訪れたユーザーが、1回あたりの訪問で閲覧したページ数の平均を表しています。 $(\text{ページビュー} \div \text{訪問回数})$

●ユニークユーザー

サイトを訪れた重複しない訪問者。期間内に同じユーザーが何度サイトを訪れても、ユニークユーザー数は1と数えられます。

●新規セッション率

ある期間において、総セッション（訪問）数に対するその期間に初めてサイトを訪問したと記録された数の割合のこと。ある期間より以前にそのサイトを訪問した記録がある場合は、それは新規セッションではなくリピートセッションとなります。 $(\text{新規セッション数} \div \text{総セッション数})$

●直帰率

サイトを訪れたユーザーが、サイト内の他のページに移動せず、1ページのみ閲覧し去ってしまった確率を指します。 $(\text{直帰数} \div \text{閲覧開始数})$

●平均サイト滞在時間

ユーザーがサイトを訪れてから、閲覧を終えるまでの平均的な時間を指します。

●閲覧開始ページ

閲覧開始ページとは、サイトを訪れたユーザーが最初に閲覧したページを指します。

●離脱ページ

離脱ページとは、サイトを訪れたユーザーが最後に閲覧したページを指します。ページを表示したまま30分間何も操作がないと、離脱したとみなされます。

●離脱率

離脱率とは、ページを訪れた利用者のうち、そのページを最後にして他のサイトに移動していった利用者の割合を示す指標です。 $(\text{離脱数} \div \text{セッション数})$

●コンバージョン

ウェブサイト上で獲得できる最終的な成果。オンラインショッピングサイトならば商品購入、情報提供サイトやコミュニティサイトならば会員登録などがコンバージョンにあたります。

●ロングテール(SEO)

アクセス解析におけるロングテールは、単独のワードではなく、複数のワードを組み合わせ、多種多様なキーワードでサイトに訪問者が訪れている状態を表します。

●月間検索ボリューム

その検索キーワードが1ヶ月間に世界で検索された回数の平均。

●ブランドワード

サイト名や会社名、商品名といった検索キーワード。

解析結果

リニューアル効果あり。今後はトップページ以外のページを強化し、キーワードのロングテール化が必要

前回調査でYahoo!に偏っていた検索エンジンの利用比率が、Yahoo、Googleともに同じ比率になり、万が一のリスクは改善されているが、YahooがGoogleの検索エンジンを採用したため、現在ではあまり意味のないものとなっている。今後はGoogleに対するSEOに注力すべき。

また、2012年と比較し、セッション数と平均滞在時間は大幅に増えたものの、平均ページビューが減少した。これは臨床研究入門初級編のページ構成が変わったことが原因と見られる。

キーワードの種類も2012年に比べ1.4倍に増えたが、全体の20%以下が理想的な上位10位の主要キーワードが、70%も占めており、まだまだ改善の余地がある。主なキーワードでは、「icr」等のブランドワードが相変わらず多いが、ブランドワード以外についても、「臨床研究 e-learning」等、サイトのコンセ

プトやコンテンツに沿ったキーワードでの流入も多くなっており、キーワードとサイトコンテンツのミスマッチによる離脱が減っている。

検索順位も「icr」が54位から3位に、圏外だった「臨床研究」は2位まで上昇し、リニューアルの効果が現れていると見てよい。しかし、トップページが入口となっているキーワードが65%以上を占めており、その他のページからの流入が著しく少ない。

今後はトップページ以外の各ページでロングテールSEOを行い、検索からのサイトの入口を増やすことが重要となる。

■ 利用検索エンジン

検索エンジン	割合	
	2013年	2012年
Yahoo	43.07%	34.27%
新規ユーザー	9.74%	18.55%
リピーター	33.33%	15.72%
Google	45.66%	48.88%
新規ユーザー	12.75%	25.48%
リピーター	32.91%	23.40%
その他	11.27%	16.85%
新規ユーザー	2.09%	5.87%
リピーター	9.18%	10.98%
合計	100%	100%

2012年と比較すると、Yahoo利用者が増加、Google利用者が減少し、ほぼ同じ比率に。Yahoo、Google以外の検索エンジン利用率は減っている。ユーザー別に見ると、Yahoo、Googleともに新規ユーザーが減少し、リピーターが増加している。

■ キーワードの種類

検索エンジン	種類	
	2013年	2012年
Yahoo	284	169
Google	263	218
合計	547	387

2012年と比較すると、Yahoo、Googleともにキーワードの種類が増加した。特にYahooでの増加が著しい。

■ 検索ユーザーのセッション

ユーザー	セッション	
	2013年	2012年
新規ユーザー	1,405	936
リピーター	4,311	940
合計	5,716	1,876

2012年と比較し、セッション数が3倍となった。また、ほぼ同数だった新規ユーザーとリピーターのセッションは、リピーターが新規ユーザーの約3倍に増加した。

■ 検索ユーザーの平均PV

ユーザー	平均ページビュー	
	2013年	2012年
新規ユーザー	13.61	4.59
リピーター	11.43	23.95
平均	12.52	14.27

2012年と比較し、2ページ程度減少。新規ユーザーの平均PVは3倍近く増えたものの、リピーターは半減している。

■ 検索ユーザーの平均滞在時間

ユーザー	平均滞在時間	
	2013年	2012年
新規ユーザー	00:13:32	00:02:17
リピーター	00:13:32	00:14:01
平均	00:13:32	00:08:09

2012年と比較し、平均滞在時間は1.6倍長くなった。また、新規ユーザーの平均滞在時間が7倍近く増え、リピーターとの滞在時間の差がなくなった。

■ 主なキーワード

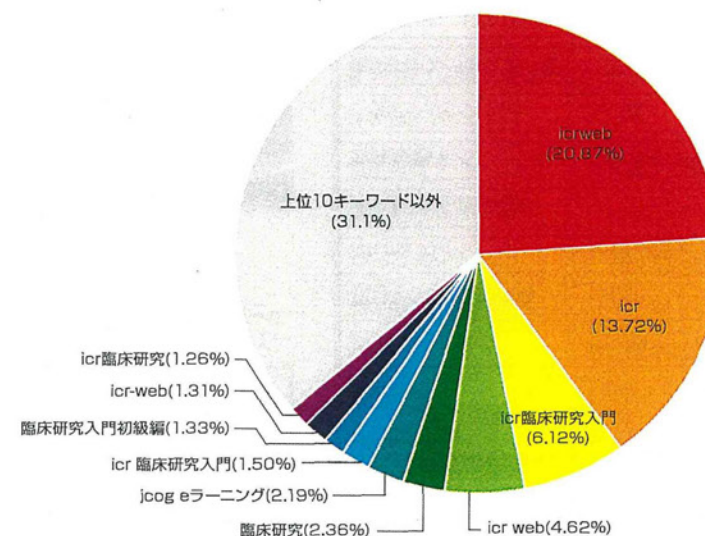
2013年	2012年
icr web	ctcae
icr 臨床研究	icrweb
臨床研究	ctcae 4.0 日本語
jcog eラーニング	臨床研究ポータルサイトicrweb
臨床研究入門初級編	ctcae グレード
ich m3 ガイドライン	icr臨床研究入門
臨床研究 e-learning	メタアナリシス 方法
臨床試験 e-ラーニング	有害事象共通用語基準
メタアナリシス入門	ctc-ae
臨床研究入門講座 修了書	jcog ctcae

ブランドワードの利用が相変わらず多いものの、「臨床研究」や「臨床研究 e-learning」「臨床試験 e-ラーニング」等のキーワード利用も多くなっている。

■セッション数の多いキーワード

順位	キーワード	割合	セッション数		増減
			2013年	2012年	
1	icrweb	20.87%	1,193	200	993
2	icr	13.72%	784	74	710
3	icr臨床研究入門	6.12%	350	16	334
4	icr web	4.62%	264	30	234
5	臨床研究	2.36%	135	5	130
6	jcog eラーニング	2.19%	125	0	125
7	icr 臨床研究入門	1.50%	86	0	86
8	臨床研究入門初級編	1.33%	76	0	76
9	icr-web	1.31%	75	6	69
10	icr臨床研究	1.26%	72	7	65
11	icrweb臨床研究入門	0.87%	50	0	50
12	ich m3 ガイドライン	0.79%	45	9	36
13	臨床研究 e-learning	0.79%	45	0	45
14	icr 臨床研究	0.73%	42	2	40
15	山本精一郎icr臨床研究入門eラーニング	0.72%	41	0	41
16	臨床試験 e-ラーニング	0.72%	41	0	41
17	icrweb.jp	0.68%	39	0	39
18	メタアナリシス入門	0.61%	35	4	31
19	icr臨床	0.51%	29	0	29
20	臨床研究入門講座 修了書	0.45%	26	0	26
21	http://www.icrweb.jp	0.42%	24	0	24
22	http://www.icrweb.jp/	0.38%	22	0	22
23	臨床研究とは	0.38%	22	0	22
24	がん 最低限の知識	0.35%	20	0	20
25	e-ラーニング 臨床	0.31%	18	0	18
26	icr臨床検査	0.31%	18	0	18
27	icr 臨床	0.30%	17	0	17
28	国立がんセンター icr	0.30%	17	0	17
29	http://www.icrweb.jp/index.php?	0.28%	16	0	16
30	臨床研究入門	0.28%	16	9	7

【上位10キーワードとその他のキーワードの割合】



【傾向】

- ・「icr」が絡むワードが30位中、16ワードランクイン
- ・「icrweb」でのセッション数は2012年と比べ5倍以上。「icr」については10倍
- ・当サイト訪問を目的としていない(サイト名やコンテンツ名を含まない)キーワードが30位中8ワードランクイン

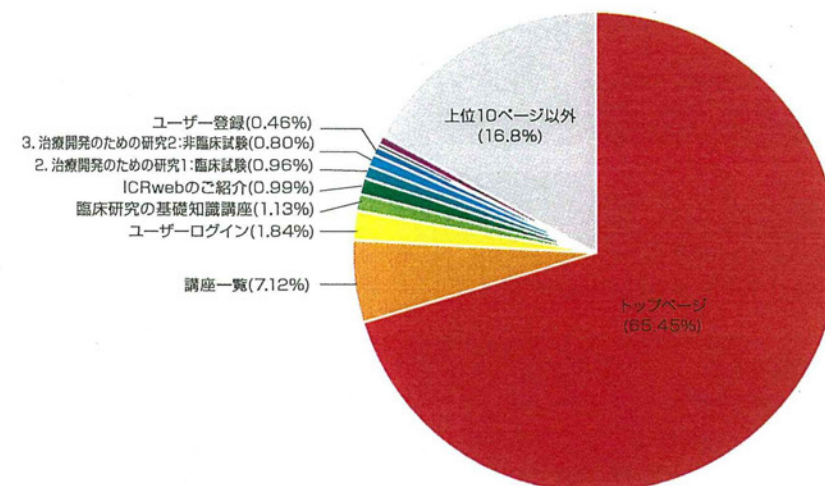
【考察】

「icr」や「icr臨床研究」等、はじめから当サイトへの訪問を目的としたと思われる検索が50%以上を占め、相変わらず多いものの、「臨床研究 e-learning」や「臨床研究とは」等、当サイトを知らずに辿り着いたと思われる検索も増えている。これらのキーワードの種類やセッション数を増やすことで、新規ユーザー(見込み客)を増やすことが可能になるため、サイト内のページ数を増やし、それぞれのページに異なるロングテールワードでSEOをしていくことで、集客効果が更に上がっていくと思われる。

■上位キーワードの閲覧開始ページ

順位	キーワード	閲覧開始ページ	直帰率		増減
			2013年	2012年	
1	icrweb	トップページ	24.56%	12.04%	12.52%
2	icr	トップページ	13.65%	9.35%	4.30%
3	icr臨床研究入門	トップページ	14.29%	7.89%	6.40%
4	icr web	トップページ	20.83%	13.04%	7.79%
5	臨床研究	トップページ	38.52%	4.55%	33.97%
6	jcog eラーニング	トップページ	96.80%	-	96.80%
7	icr 臨床研究入門	トップページ	80.23%	-	80.23%
8	臨床研究入門初級編	トップページ	14.47%	8.33%	6.14%
9	icr-web	トップページ	52.00%	17.39%	34.61%
10	icr臨床研究	トップページ	9.72%	11.11%	△1.39%
11	icrweb臨床研究入門	トップページ	8.00%	-	8.00%
12	ich m3 ガイドライン	トップページ	80.00%	63.64%	16.36%
13	臨床研究 e-learning	トップページ	4.44%	-	4.44%
14	icr 臨床研究	トップページ	21.43%	0.00%	21.43%
15	山本精一郎icr臨床研究入門eラーニング	トップページ	7.32%	-	7.32%
16	臨床試験 e-ラーニング	トップページ	9.76%	-	9.76%
17	icrweb.jp	トップページ	12.82%	-	12.82%
18	メタアナリシス入門	トップページ	97.14%	25.00%	72.14%
19	icr臨床	トップページ	3.45%	-	3.45%
20	臨床研究入門講座 修了書	トップページ	0.00%	-	0.00%
21	http://www.icrweb.jp	トップページ	16.67%	-	16.67%
22	http://www.icrweb.jp/	トップページ	9.09%	-	9.09%
23	臨床研究とは	トップページ	40.91%	-	40.91%
24	がん 最低限の知識	講座一覧	55.00%	-	55.00%
25	e-ラーニング 臨床	トップページ	0.00%	-	0.00%
26	icr臨床検査	トップページ	11.11%	-	11.11%
27	icr 臨床	トップページ	5.88%	-	5.88%
28	国立がんセンター icr	トップページ	17.65%	-	17.65%
29	http://www.icrweb.jp/index.php?	トップページ	6.25%	-	6.25%
30	臨床研究入門	トップページ	12.50%	11.11%	1.39%

【上位キーワードの閲覧開始ページの割合】



【傾向】

- ・トップページが閲覧開始ページとなっているキーワードが上位30位中29ワード
- ・トップページの閲覧開始が70%以上
- ・2012年と比べ、セッション数が増えた分、直帰率も増加

【考察】

トップページが入口となっている上位キーワードが65%以上を占めており、その他のページからの流入の割合が少ない。
 今後はトップページ以外の各ページでロングテールキーワードによるSEOを行い、検索からのサイトの入口を増やすことが重要となる。特に「メタアナリシス入門」や「ich m3 ガイドライン」等、直帰率の高いキーワードについては、該当ページへ誘導するためのわかりやすいナビゲーションも必要。